



雲青き

さいたま市立大成中学校 学校だより

令和6年2月6日



館岩自然の教室を終えて

校長 浅野 克裕

つい先日、新年の御挨拶を交わしたばかりとと思っていましたが、早いもので、2月になりました。この2月「如月（きさらぎ）」には、諸説ありますが寒さで着物を更に重ねて着ることから、「着更着（きさらぎ）」とする説が有力とされているそうです。

冬の寒さにじっとしていた万物が、春の陽気に包まれ元気に活動し始める頃が立春となります。

さて、2年生は、1月28日（日）から30日（火）までの2泊3日、館岩自然の教室で福島県南会津に行ってまいりました。

初日は、予定通りに到着し、午後半日のスキー実習を行いました。2年生の8割程の生徒がスキーは初めてで、その顔には期待と若干の不安な様子が伺えました。

2日目は、晴れ間が多く最高のスキー日和となり、初めての生徒も皆覚えが早く、リフトを何本も乗って滑り下りて来たり頂上近くまで上がって長い距離を滑り下りて来たりと上達の速さに驚き、さらには、カメラを向けるとポーズをとるなど余裕の生徒も複数いました。スキー実習終了後は、グラウンドに移動して雪上運動会を行いました。膝以上もある新雪の中で寝転んだり埋もれたり、雪の上に大きく絵を描いたり、中には100mくらい先まで雪中を強行突破している生徒もいました。いずれにしても、さいたま市では経験できない貴重な体験になりました。また初日は、実習中から雪が降っており、夜になっても厚い雲が空を覆っていたため「星空観察」は延期となりましたが、2日目の夜は、冬の時期には珍しいくらいの星空らしく、さいたま市の夜空とは比べものにならない程の多くの星を確認することができ、生徒たちからは歓声があがっていました。

最終日は、午前中のみの実習となりましたが、初心者コースにはほとんど生徒の姿が見られず、多くのスキー班が、中級以上の上の方のゲレンデで滑っていたようです。

私も6年振りに引率しましたが、子どもたちの笑顔や歓声、学校とは違う一面を見ることができ、2泊3日を一緒に楽しむことができました。成功に導いてくれた実行委員の生徒、仲間との協力を意識して参加した2年生の生徒、そして、全力で生徒を応援してくれた先生方に感謝します。

3年生は、進学先が決まった人が出始めましたが、進路決定も中学校卒業もゴールではなく、通過点に過ぎません。この通過点を如何に気持ちよく、充実感や達成感をもって、前向きに堂々と生活できることが大切だと思います。大成中学校卒業までの残りの期間を仲間と共に“全力120%”で生活してほしいと願います。

◎ プランターに植えたストックの花です。→



《生徒の皆さんへ》

3年生は、大成中学校最後の授業である「卒業式」を成功させ、新しい道を歩んでください。

2年生は最上級学年に、1年生は中学校で初めての先輩となります。今のうちからどのような最上級学年や先輩になりたいか、2か月後の自分をイメージするなど準備をしておきましょう。

そして、3年生のために卒業式が成功するよう全力で臨むようお願いいたします。3年生のために努力したことは、いずれ自分たちに返ってきます。これが“伝統”というものになります。